

LINEプロモーション絵文字

制作・納品ガイド

LINEヤフー株式会社

2025/3 v3.0

LINEヤフー

目次

- 01 本資料について
- 02 はじめに
- 03 制作ガイド
- 04 納品ガイド
- 05 制作Tips

本資料について

**「LINEプロモーション絵文字」について、
制作や納品に関するガイドライン、制作Tipsをまとめた資料です。**

全体の進行フローや告知物については[LINEプロモーションスタンプの制作ガイド](#)をご参照ください。

はじめに

はじめてLINEプロモーション絵文字を実施する広告主様の場合、円滑な進行のためにLINEヤフー社との**初回オリエンテーションの実施**を推奨いたします。詳しくは担当営業までお問い合わせください。

広告主様

ご用意いただきたいもの

- 実施目的
- 獲得したいターゲット
- 連動するキャンペーンなどがあれば、その情報など

LINEヤフー社

ご提供する資料

- 制作・納品ガイド（本資料）
 - スケジュール
- ※その他、案件や進行状況に応じて補足資料を用意する場合もございます。

制作ガイド

1.キャラクター審査



審査内容

- ✓ 使用するキャラクターがLINE絵文字の機能を満たしているか、審査を行います。
審査基準やNG例については次項をご確認ください。

企業制作

過去に実施したことのあるキャラクターでも**毎回審査が必要**

※本工程ではキャラクターの審査のみ行いますので、クリエイティブの表現やレギュレーションに対する審査は別途必要となります。

クリエイターコラボ

キャラクター可否審査は不要

クリエイターコラボ依頼時に企業キャラクターを描き起こし希望の旨をお伝えください。

1.キャラクター審査



審査基準

必須

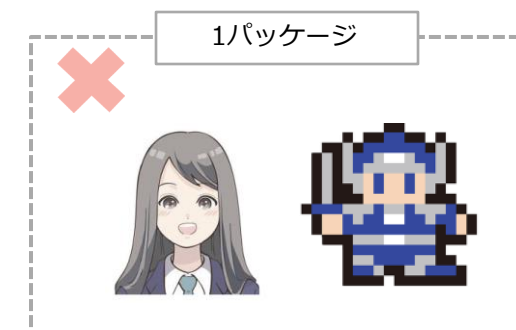
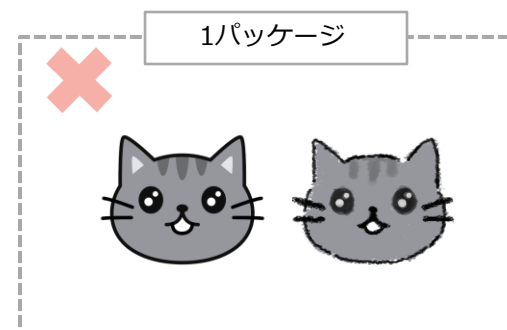
- ・ トンマナの一致

可能

- ・ 目もしくは口を動かして表情の変化ができるキャラクター
- ・ スタイルが確立しているブランドやキャラクターをデザインに起こしたものの

NG例

- ・ 表情の変化が乏しく、感情表現ができない
- ・ 視認性が悪い
- ・ トンマナが異なる複数のキャラクターが混在する
- ・ その他、LINE絵文字の機能を満たさないもの



※ LINEの利用推奨年齢は12歳以上ですが、12歳未満の利用も想定し審査をしております。そのためクリエイターズマーケットとは掲載基準が異なります。

※ 審査基準は変更になる可能性があります。ただし、審査基準は公開しておりません。

2.バリエーション

キャラクター審査

バリエーション

白黒ラフ

清書

入稿

リリース・告知

バリエーション案

企業制作

※点数は最大でも「納品数×2まで」を目処に絞ってから審査をご依頼ください。

意図するメッセージ内容、使用するキャラクター、キャラクターの表情やポーズ、文字内容、背景や小物などをできるだけ詳細に設定し、テキストベースで制作方針や企画を作成してください。

リリースする点数よりも多めに用意し、後の工程で数を絞り込んでいく方が最終的な品質が向上しやすいです。

クリエイターコラボ

※バリエーション依頼シートにて希望のバリエーションを選択してください。

絵文字数が10種の場合は12種、20種の場合は22種選択していただきます。

チェックを入れたバリエーションに対して具体的な要望がある場合はチェックボックス隣の記入欄にご記載ください。
具体的なイメージがある場合は「参考例」欄に画像を挿入してください。

バリエーション依頼シート記入例

分類	メッセージ	表現選択	構図や色の指定など 詳細なご要望をご記載ください	利用率観点での補足事項	参考例
1	サムズアップ	<input checked="" type="checkbox"/>	笑顔で手を大きく表現	相手の承認欲求を満たす「いいね！」同様の表現	
2	賛同・承諾	<input checked="" type="checkbox"/>	「OK」の文字を入れてください	「了解、OK」などポジティブな回答	

2.バリエーション

キャラクター審査

バリエーション

白黒ラフ

清書

入稿

リリース・告知

PR表現

- ✔ PR表現を含める場合は、規定の個数内に収めてください。
PRに該当するか否かの判断は、審査時に当社が行います。

規定の個数

- 10種は3個まで、20種は5個まで
- そのうち、ロゴ・キャッチコピー単体など
広告色が強い絵文字は2個まで入れることが可能です。

PR要素の強い表現は、ユーザー間のコミュニケーションに適さず、使われにくい傾向にあります。

PRはLINE公式アカウントのメッセージ等で実施されることをオススメいたします。

また、過度に広告色が強いと判断された表現はレギュレーション審査で修正をお願いすることもあります。



PR表現例

- 商品
- ロゴ
- キャッチコピー等の文字
- TVCM等の広告物と連動した表現
- その他、コミュニケーション用途ではないもの



2. バリエーション



PR表現

入れ方によっては不自然であったり、視認性観点でNGの可能性あります。

レギュレーション審査（納品形式にする前の段階）で実際のクリエイティブをみて判断いたします。

PRカウントあり

実際のオブジェクト(服、バッグ、マグなど)にロゴ単体が入ったデザインがPR表現としてカウントされ、キャッチコピーやロゴ単体の絵文字は広告色が強いPR表現としてカウントされます。



PRカウントなし

ロゴのデザインが入った柄やブランドを想起できる配色などが入ったデザインで、馴染んでいて不自然でなければPR表現としてカウントされません。

2.バリエーション



クリエイターズマーケットとは審査基準が異なり、掲載NGの表現がございます。

NG例

<p>✗ 公序良俗に反するもの</p> 	<p>✗ 性的なもの</p> 	<p>✗ 特定の個人やグループを誹謗中傷するもの</p> 
<p>✗ 不快感を与えるもの</p> 	<p>✗ 暴力的なもの</p> 	<p>✗ 特定の著作物の模倣やパロディ要素を含むもの</p> 
<p>✗ 飲酒・喫煙を想起させるもの</p> 	<p>✗ 政治的なもの 宗教的なもの ナショナリズムを煽るもの</p> <p>選挙へ行こう</p>	<p>✗ パッケージ内でトンマナが統一されていないもの</p> 
<p>✗ 未加工の写真など</p>	<p>✗ LINE絵文字での機能を満たさないもの コミュニケーションとして使えないもの</p>	

※画像は一例です。

3.白黒ラフ



白黒ラフ（静止画）

企業制作

審査点数は最大でも納品数×2までを目処に絞ってからご依頼ください。

テキストのバリエーション案を元に、着色せず白黒でラフを制作ください。

描き起こしたラフから意図するメッセージが正しく伝わるか、絵文字を介して送信者と受信者が同じメッセージを共有できるか、確認してください。LINEの絵文字は、単体で送信するとスタンプのように使えます。

複数の絵文字をまとめたり、通常の文字と併せて送信するときは、ひとつのふきだしの中に表示されます。

使いやすさを考えながらつくりましょう。

クリエイターコラボ

白黒ラフを確認のタイミングで清書へ進める案（10種or20種）を選定いただきます。

修正範疇に収まらず描き直しと判断されるご要望については、当社は拒否できるものとします。

描き直し可否かの判断は当社が行います。

クリエイターコラボはクリエイターの作風で描き起こすメニューのため、全てのご要望をお受けできない可能性があります。

4.清書



清書（静止画）

企業制作

白黒ラフを基に清書してください。

ポジティブ表現は暖色系・ネガティブ表現は寒色系など、メッセージ内容に合わせて配色してください。
淡い色を多用しコントラストの低いスタンプは、
選択画面でメッセージ内容が理解しづらく使われにくくなります。

クリエイターコラボ

清書確認のタイミングでタブ画像・並び順をご選定ください。※清書後のデザイン・構成等の変更はお受けできません。

修正範疇に収まらず描き直しと判断されるご要望については、当社は拒否することができるものとします。
描き直しか否かの判断は当社が行います。

なお、クリエイターコラボはクリエイターの作風で描き起こすため、全てのご要望をお受けできない可能性があります。

5.入稿



最終調整・入稿準備

企業制作

納品形式でのフォーマットチェックを行います。

画像一式、入稿シートが揃った状態でご提出ください。

クリエイターコラボ

弊社がお渡しした納品データをご確認のうえ、入稿を進めてください。

指定の並び順、タブ画像に相違がないかご確認ください。

入稿物

✓ **絵文字画像**
(タブ画像含む)

✓ **入稿シート**

※入稿前に必ず納品ガイドをご確認ください。

※いずれか一方のみでは設定作業が進められません。

※入稿後の修正は一切受け付けません。

6.リリース

キャラクター審査

バリエーション

白黒ラフ

清書

入稿

リリース・告知

リリース

✓ スポンサーダ絵文字

- ・ 毎週火曜日リリース
- ・ 無料タブ内の「絵文字」タブに掲載

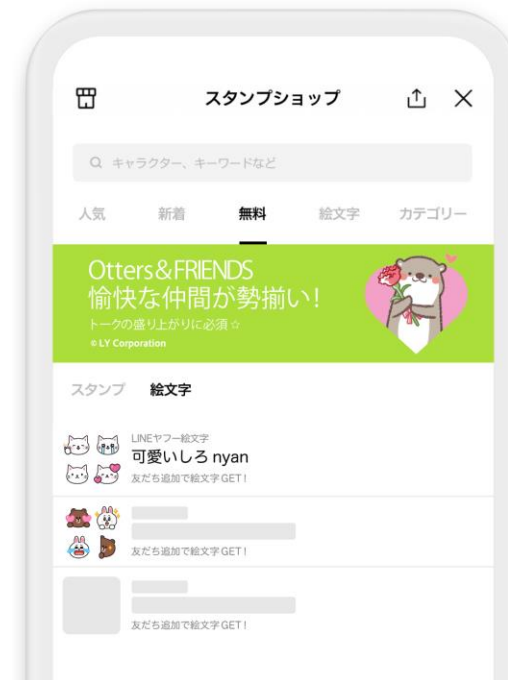
11時以降にリリースします。

LINEヤフー社からはユーザー全員に対して一律リリースを行いますが、ユーザーの利用環境により反映には若干の誤差が生じるため、配信時間を告知する場合は「11時頃」と表記してください（11時開始と告知するのはNG）

告知

告知に関する内容は、「[LINEプロモーションスタンプの制作ガイド](#)」をご確認ください。

スタンプショップ イメージ



※スタンプショップのUIは事前告知なく変更になる場合がございます。

納品ガイド

入稿に必要なもの 静止画

✓ 画像一式

	サイズ (Pixel)	必要数	画像フォーマット等	そのほか規定/補足
絵文字画像 (001-010 or 001-020.png)	W180 × H180 (固定)	10 or 20	・ PNG形式 ・ 解像度72dpi ・ カラーモードRGB ・ 各データ1MB以下 ・ 透過背景	・ 画像サイズは縦横ともに偶数のサイズにしてください。 ・ pngのファイル名は3桁の半角数字のみをお願いします。
メイン画像	不要			・ メイン画像は絵文字画像の中から4点お選びいただき、入稿シートにご記載ください。 ・ メイン画像を別途ご用意いただく必要はございません。
タブ画像 (tab.png)	W96 × H74 (固定)	1		・ タブ画像はパッケージの中から1点をお選びいただき、別途指定のサイズでPNGファイルを作成してください。

- ・ インデックスカラーは使用禁止です。(32bitのみ可)
- ・ 納品後、弊社でデータの修正や可変は一切行いません。

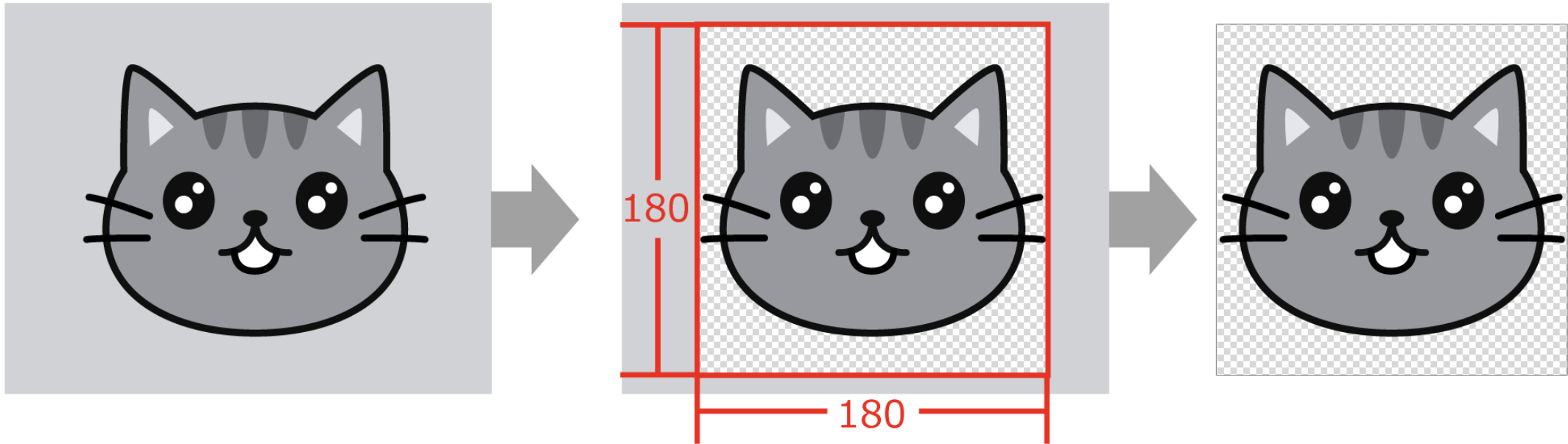
✓ 入稿シート

指定フォーマットに記載してください。(LBPMの入稿画面よりダウンロードできます。)

- ※いずれか一方のみでは設定作業が進められません。
- ※入稿後の修正は一切受け付けません。

絵文字画像の書き出しについて

デザインが決定したイラストは規定のサイズに合わせて配置し、透過のPNGファイルに書き出してください。



1.デザインの決定

絵文字を制作

2.規定サイズに配置

規定のサイズに合わせてイラストを配置

※縦横のサイズは固定です。

規定のサイズにイラストがギリギリになるよう配置してください。

3.PNG書き出し

透過のPNGファイルに書き出し

余白と視認性について

画像書き出しの際、小さく表示させたい絵文字には上下左右に余白を設けてください。

また、絵文字を並べて使う際、隣接する絵文字と繋げたい場合は余白なし、間隔をあけたい場合は左右に余白を設けてください。

小さく表示させたい場合

絵文字に余白を設ける



トークバブル内での見え方



スタンプとして使用した場合の見え方



視認性の良い例・悪い例

背景にかかわらず視認性を確保できるように、アウトラインをくっきりつけるなど調整してください。

良い例



悪い例



※キャラクターの視認性が悪い場合は意図的であってもNGとなります。

※一つだけ極端に小さい場合、全体とのバランスが不自然になってしまうためNGになる可能性がございます。

メイン画像

✓ 選定について

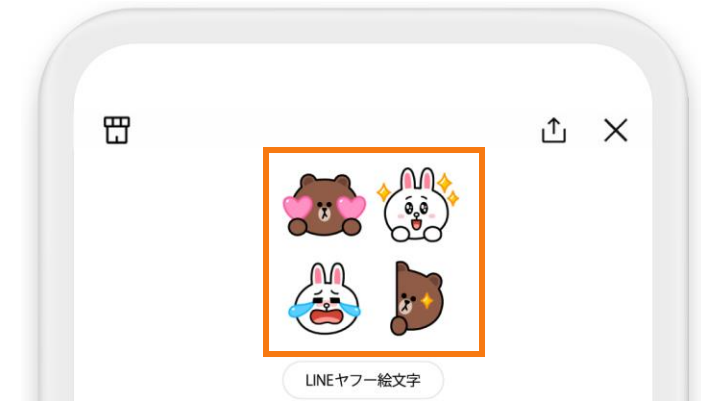
- PR表現は2個まで選定が可能です。
- 絵文字画像の中から4点選択いただき、入稿シートに番号を記入してください。
- 2つ以上繋げて1つになるデザインの絵文字については次項をご確認ください。
- **メイン画像を別途ご用意いただく必要はありません。**

項目名	入力欄
main画像指定 (表示位置1)	002
main画像指定 (表示位置2)	005
main画像指定 (表示位置3)	007
main画像指定 (表示位置4)	003

表示位置



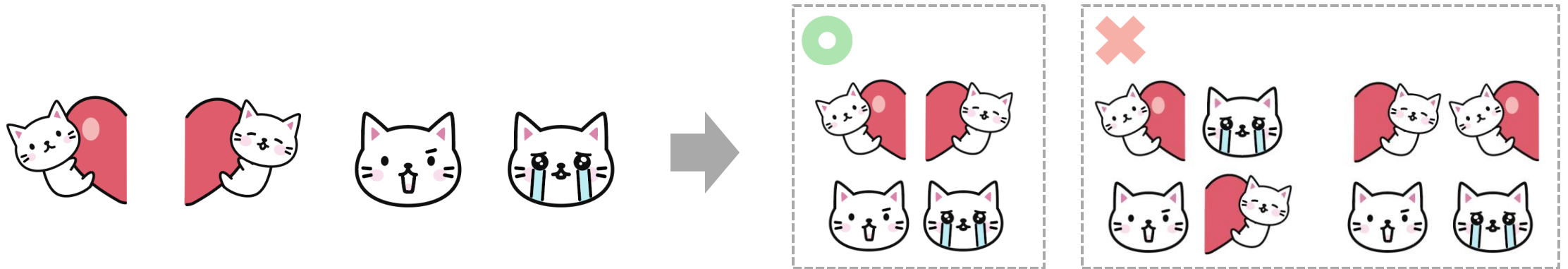
表示イメージ



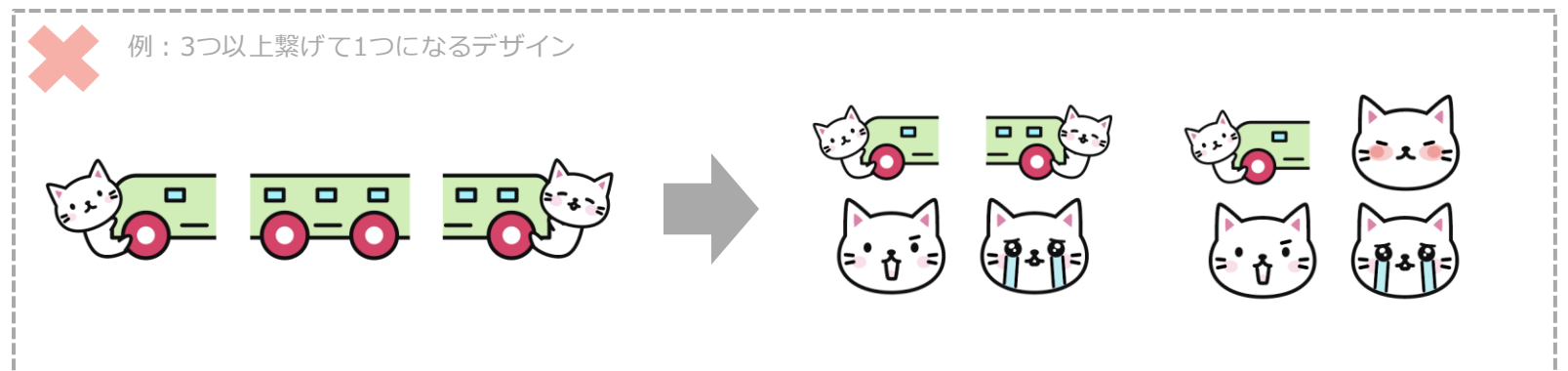
メイン画像

✔ 2つ以上繋げて1つになるデザインについて

横もしくは縦に繋げる想定デザインを選定する場合は、繋ぎ表現ということがわかるように配置することが必須です。



ロゴやキャッチコピーなどのPR表現・3つ以上繋げて1つになるデザインは選定NGです。

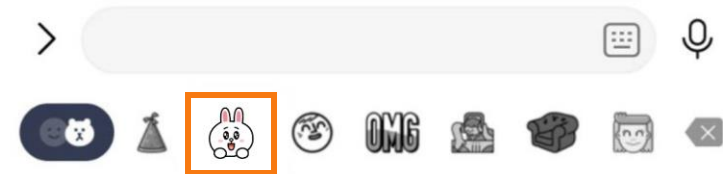


タブ画像

✓ 選定について

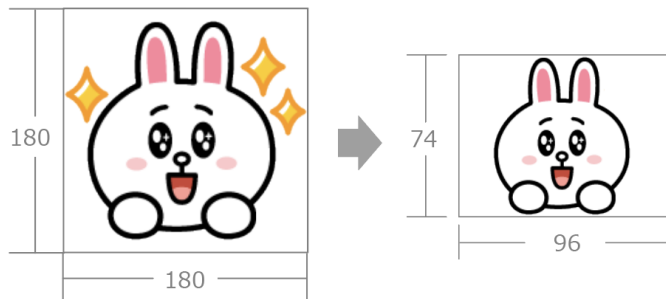
- パッケージの中から1点選択いただき、W96×H74pxのPNGファイルを作成してください。
- 視認性が確保できていればPR表現も選定可能です。
- **パッケージのコンセプトがわかるデザインを選定**ください。

表示イメージ



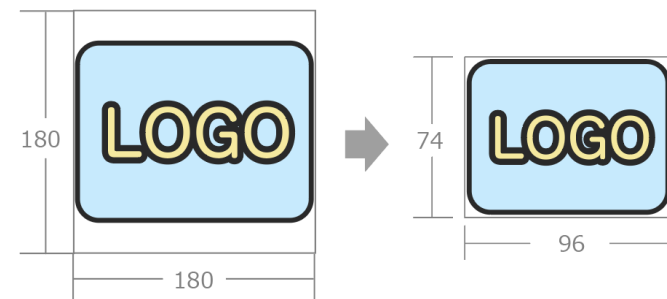
キャラクターが入っている絵文字

文字、あしらい、背景などは削除必須となります。



ロゴなどキャラクターが入っていない絵文字

視認性が確保できていれば選定可能です。



制作Tips

絵文字の使われ方

繋ぎ表現

表情の絵文字以外にも、組み合わせて使用できる絵文字があると使い方が広がります。上下左右の余白を無くす事で、縦横で繋げて使用する事ができます。

▼二つ以上並べて使える絵文字の例



▼トークバルーン内での見え方

横で繋げたイメージ

縦で繋げたイメージ



良い例

境界線がぴったり繋がる



悪い例

位置がずれている、主線が丸角になっているなど



スタンプ単体としての使用

絵文字は、単体で送る事でスタンプのように使用できます。スタンプとしても使える絵文字を入れる事で使いやすさが向上します。

「OK」や「サムズアップ表現」、「ハート」の表現などは単体でも使われやすいです。



絵文字の表現

バリエーション

✓ 同じ構図にならないような構成

すべて同じ構図は全体で見た際に表現が少なく見えてしまうので、全身やバストアップ、手が入っている絵文字をいくつか入れる事を推奨しています。



✓ 表情にわかりやすい変化をつける

表情に大きな差がないと、ふきだしの中で使われた際、同じように見えてしまう可能性があります。表情にはわかりやすい差をつける事を推奨しています。



良い例
はっきりと表情の違いがわかる



悪い例
表情の違いが小さくわかりづらい

感情表現

✓ あしらいの配色

色使いによって、ユーザーに与える印象が本来の意図と異なる可能性があります。表現に見合った配色を推奨しています。



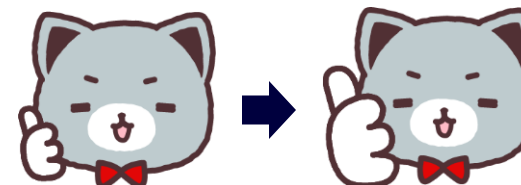
良い例
ポジティブな表現のときは暖色系メイン
ネガティブな表現のときは寒色系メイン



悪い例
ポジティブな表現に対して寒色系（逆も同様）

✓ パーツの誇張

顔のパーツや手のポーズなど、感情を表現しているパーツを気持ち大きめに描いていただくと、より表現がわかりやすくなります。



視認性について

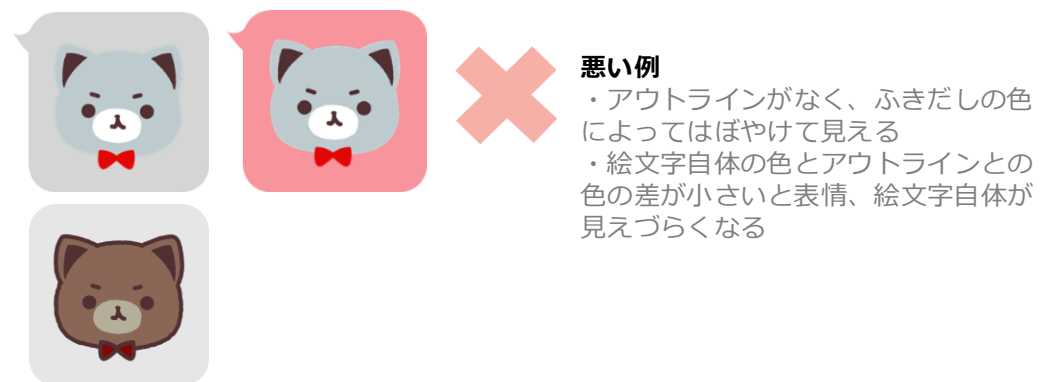
アウトライン

アウトラインがない又は細いイラストはふきだしの色の影響を受け、見えづらくなってしまう可能性があります。

できるだけ濃い色ではっきりとしたアウトラインをつけてください。



良い例
アウトラインがはっきりしている



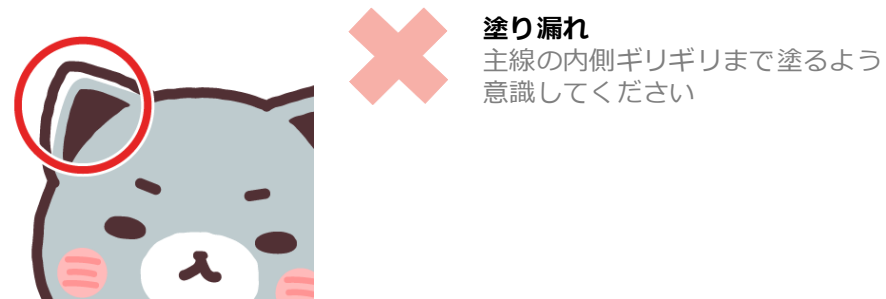
悪い例
・アウトラインがなく、ふきだしの色によってはぼやけて見える
・絵文字自体の色とアウトラインとの色の差が小さいと表情、絵文字自体が見えづらくなる

カラー塗り

イラストのカラーデータをご制作の際、「はみ出し」や「塗り漏れ」がないかご確認ください。



はみ出し
特に水彩のイラストなど
滲むことがあるためご注意ください



塗り漏れ
主線の内側ギリギリまで塗るよう
意識してください

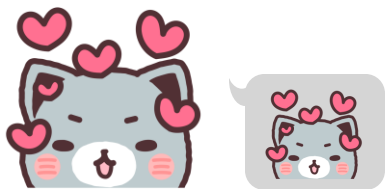
視認性について

あしらい -量-

キラキラ・ハート・集中線などは、絵文字にすると小さくなり、絵がつぶれて見えてしまう可能性があります。イラスト自体が複雑な場合も見えづらい原因となりますので、わかりやすくシンプルな絵文字を推奨しています。



良い例
あしらいがシンプルで見やすい



悪い例
あしらいで絵がつぶれて見えてしまう



ポイント

デコレーション専用の絵文字を用意すると視認性が上がり、使い方も広がります。

あしらい -線-

あしらいの線が密になっていると、実際のサイズでは見えづらくなる可能性があります。適度な間隔を空けるなどご配慮ください。



大きいサイズ



小さいサイズ



大きいサイズ



小さいサイズ



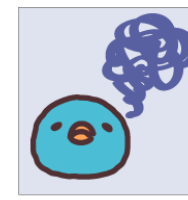
良い例
適度に間隔を空ける



大きいサイズ



小さいサイズ



大きいサイズ



小さいサイズ



悪い例
線が重なって見える

視認性について

あしらい -背景同化-

トークバルーンの緑背景やトークルームの青背景、ダークモードの黒背景、販売画面の白背景と同化して見えづらい色になっていないかご確認ください。



良い例
濃いめの色を使用する
アウトラインを付ける など



悪い例
緑背景に緑／青背景に水色／白背景に黄色
など
特にテキストにはフチや吹き出しを付ける
ことを推奨しています

あしらい -淡いデザイン-

水彩などの淡いデザインの場合でも、視認性を高めるため線を太めに調整いただく可能性がございます。



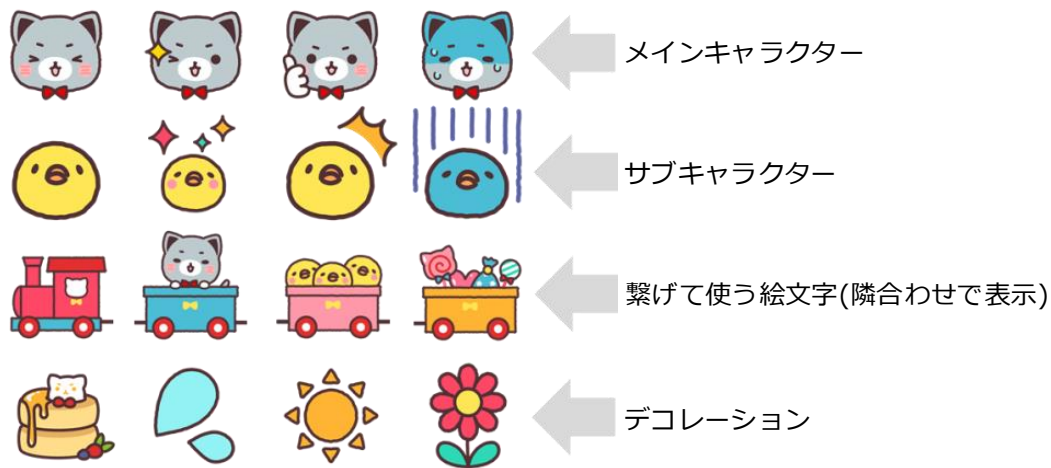
良い例
淡いデザインでも見えづらくないよう
主線を太くする、主線を濃くする など

並び順

並べ方

使いやすい絵文字から順に並べてください。

キャラクターが複数いる場合はキャラクター毎に並べ、さらに似た感情を隣合わせにすることで使いやすさが向上します。繋げて使う想定絵文字は隣合わせにし、使い方を明示する事でさらに使われやすくなります。



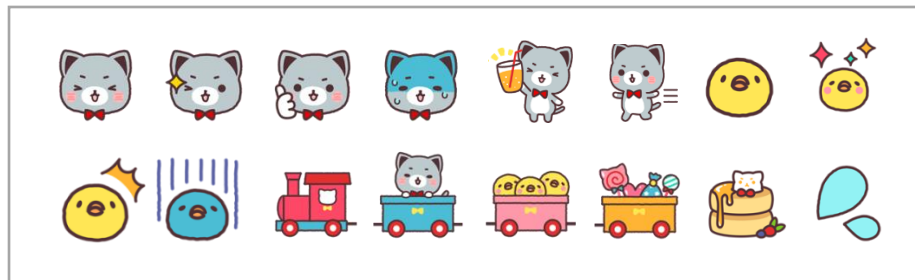
構成を考える際のご注意点

絵文字は、スマートフォン用のスタンプダウンロード画面では5個ずつ並びますが、PC用では8個ずつ並びます。繋げて使用する想定絵文字が離れてしまわないよう、構成時にご留意ください。

スマートフォン上での表示 (5個並び)



販売画面：PC上での表示 (8個並び)



LINEヤフー